

市議会だより

発行 五條市議会 編集 議会広報編集委員会
平成27年（2015年）8月1日

GOJO

No.56



（吉野川祭り 納涼花火大会）

五條市議会第2回6月定例会の概要

平成27年第2回6月定例会は、6月1日に開会、会期を22日までの22日間と決定し、初日には市長から所信表明と提出議案の説明を受けました。

本定例会には、平成27年度一般会計補正予算及び下水道事業特別会計を始め、五條市歯と口腔の健康づくり推進条例の制定や五條市都市公園条例の一部改正、市道路線の変更、五條市固定資産評価員の選任同意などの重要案件が市長から提出されました。

また、提出された平成27年度一般会計補正予算については、新規事業や政策的な経費を抑えた骨格予算であった当初予算に対する補正予算であるため、慎重審議を期するため、予算審査特別委員会を設置し審議しました。

その他、奈良県後期高齢者医療広域連合議会の議員選挙や認知症への取組の充実強化に関する意見書が提出され、慎重審議を行うとともに、4日と5日には7名の議員が一般質問を行い、6月19日に閉会しました。

目次

一般質問	2～5ページ
意見書・決議ほか	5ページ
表決結果と議決結果	6～7ページ
議会運営委員会の視察ほか	8ページ

一般質問

定例会では、議案に関係なく市の一般事務について質問することができます。これを一般質問といい、以下質問順にその概要をまとめています。

山口耕司 議員

介護保険について

山口 本年4月より入所基準や、8月より保険料が改定されるが現状と見通しについて尋ねます。

あんしん福祉部長 平成27年度より、1号保険者（65歳以上）保険料は月額5,950円で、前期より850円の増額となっている。要支援1・2の方を対象とした

訪問介護・通所介護を市が地域の実情に応じて実施する地域支援事業へ移行。特別養護老人ホームの入所基準が原則要介護3となった。利用者の負担は、65歳以上の方の個人市民税が非課税の場合1割、160万円以上は2割の負担。但し、65歳以上の夫婦の年金収入が346万円未満の場合1割に戻す。**山口** 要介護1・2の方がどうしても入所しなければならぬ場合はどうなるのか。

あんしん福祉部長 認知症などやむを得ない理由があれば、再度入所基準に照らし判定等、状況を勘案し入所できる。今後、地域包括ケアシステムを整備しながら、地域で支える態勢づくりを進めたい。

高齢者のボランティア（地域活動）ポイント制度について

山口 元気な高齢者については、要介護にならないための「生きがいづくり」や「社会参加促進」施策など、介護予防につながる諸施策を展開する必要があります。

そこで、現在、高齢者が地域でボランティア活動に従事することによって、高齢者の社会参加や地域貢献を促すと共に、高齢者自身の介護予防につながるとして、ボランティア・ポイント制度の取組を推進している自治体がある。東京都八王子市や三重県松阪市等ではすでに取り組んでおり、大変好評であると紹介されている。本市においても取り組んでいただけるようお願いしたい。

市長 地域住民の方が、より積極的にサービス提供者側として参加することができるボランティア活動にポイント制度を導入することにより、高齢者自身が支え手に回り、地域活動に参加することは、生きがいや介護予防につながると考え、本市は、サービス提供主体として活動するボランティア活動に積極的に支援してまいりたい。

平岡清司 議員

防災ガイドブックについて

平岡 2月、3月に防災ガイドブックを市民にどのように配布したのか。

危機管理監 市内地区別で説明会を開催し、地区自主防災会の協力で市民に配布を行った。

平岡 自治会に加入していないところにはどうしたのか。また、配布済みの確認はとれているのか。

危機管理監 自治会に加入されていない世帯についても自主防災会の協力で大半の世帯に配布を完了した。まだ未配布の方には、今後も広報五條及びホームページ、新聞折込みなどの手法において全戸にいきわたるようにお知らせする。

平岡 地区別に自治会加入状況を把握していれば、災害発生時での救助活動も迅速に対応できると思うが、どのように考えているのか。

危機管理監 自治会の加入状況を名簿化して配布することは、個人情報保護の観点から限界がある。自主避難できない高齢者一人暮らし、障がいをお持ちの方を避難行動要支援者として同意を取った上で名簿を整理したところである。

平岡 防災ガイドブックに避難所が掲載されているが、洪水時に避

難できる場所でも、地震時に耐震ができていない建物には避難できない。このような場合各地区の市民にどう周知されるのか。

危機管理監 有事の際にどこに避難すればよいか分かりにくいケースもある。避難場所を知らせるには、携帯電話会社3キャリアによるエリアメール、テレビ、ラジオの伝達で市民に周知する。

平岡 防災ラジオは、FMやAM放送の他に防災行政無線も受信でき、価格は個別受信機の半額以下だが視野に入れて考えているのか。

危機管理監 防災ラジオも検討したが、防災ラジオは安価であるがデジタル波をアナログ波に変換する必要があるため、個別受信機を整備する方が安価である。

平岡 年に一度五條市一斉防災訓練の日を設けて避難経路、避難場所の確認など重視する訓練を各地区で行っていたら良いと思うが、市長はどのように考えているのか。

市長 五條市各地一斉の防災訓練の実現に向けた気運の高まりを図っていきたく考える。

平岡 先日の口永良部島の噴火災害でも平素からの住民参加の訓練で犠牲者ゼロの成果である。五條市一斉訓練が行われるよう願う。

吉田 正 議員

空き家等対策の推進に関する特別措置法について

吉田 政府は、空き家問題に対応するため空き家対策特別措置法を施行し、倒壊等の危険がある「特定空き家」と判定した場合、市町村が強制撤去まで行なえる規定が施行された。また「特定空き家」は固定資産税の優遇措置を除外する方針と聞くが、本市はこれらを基にどう取り組んでいるのか。

市長公室長 関係会議を開いて対応を検討している。

吉田 施策の概要中に、国の基本指針に即した空き家対策計画を策定、協議会を設置とある。また、特措法の流れの中に緊急措置の条例の制定も盛り込まれているが緊急措置条例制定の考えはあるのか。

市長公室長 検討していきたい。

吉田 特定空き家を出さないのが一番ではないか。他市町村でも危険空き家の解消に対する補助金や空き家に定住を促進する助成制度等条例を制定しているが空き家解消の補助金制度の考えはあるのか。

市長公室長 五條市にあった施策を検討したい。

吉田 空き家を出さない対応策、また危険空き家に対し強制撤去に踏み切らないように、地権者等に対し自主的に改修、撤去等をしてもらえるような施策について条例制定も含め市長はいかにお考えか。

市長 喫緊の問題と考えている。早急に検討していきたい。

吉田 住んでよかつたまちづくりのためにもさらなる対策を講じていただき、条例制定も含めた空き家問題解決のため施策の実行を早急にしていただきたい。

市営住宅の共益費について

吉田 市営住宅の共益費の徴収は現在どのようなになっているのか。

都市整備部長 市営住宅8箇所については入居者で直接徴収してもらっている。

吉田 通常の賃貸マンション等は、家主等が家賃プラス共益費を月々徴収していると思うが、該当する市営住宅はなぜ家賃と共益費を別にしてしているのか。

都市整備部長 金額がまちまちなので一括徴収はしていない。

吉田 徴収が滞って困っている住宅もあると聞いている。市による一括徴収も含め対応を早急にしていただきたい。

吉田雅範 議員

大塔町の復旧・復興について

吉田 復旧・復興の半ばであるが、災害にあった大塔保育所、デイサービスセンターなど今後の対応策について尋ねる。

市長公室長 まず、デイサービスセンターは被害が大きく解体するが、跡地利用は地元と調整したい。大塔保育所についても、地元で有効に使ってもらいたいと考えている。

また、大塔小・中学校については、地元や市内外の人たちに有効活用できるように検討し事業化していきたい。

吉田 小・中学校も赤谷キャンプ場も災害に遭い、まだ進捗していないが、小・中学校を利用して他市からも来ていただけるような野外教室などに活用できないのか。

市長公室長 非常に立派な施設で、工具もそろっており、野外活動等に十分に使えますので、市・県内外の方に使っていただき、地域活性化の一助になるよう考えている。

五條市全域の買い物支援について

吉田 高齢化が進む中、高齢者や

障がい者への買い物支援に対する今後の取組について尋ねる。

産業環境部長 買物弱者には安定した買物支援が必要であるため、移動店舗販売車を用いて販売している吉野ストア株式会社と連携し、買物支援の実証事業を行う。

また、買物を終えた住民が集うきずなづくりのコミュニティの場となる支援態勢をとりたいと考えている。

子育て支援について

吉田 新たに4月から「子ども・子育て支援制度」が始まったが、具体的にどのような整備をされたのか尋ねる。

あんしん福祉部長 子育て支援として、五條児童館や民間保育所で子育て教室、カルム五條で離乳食教室、田園地区社会福祉協議会では、母親が中心となり子育てサークル「にじいろ電車」が運営されている。

本市としては、子ども・子育て支援事業計画に沿って、親子で参加できる場、交流の場を推進したいと考えている。

※その他に、五條市新婚世帯住宅取得補助金、所信表明と議案説明の作成について質問をしました。

牧野雅一 議員

大塔町の復興について

牧野 県は平成27年度以降、復旧・復興から地域振興という『南部復興基本計画』を策定したが、現状と今後の取組について尋ねる。
大塔支所長 復興に向けた地域づくり検討プロジェクトを立ち上げ、今後も地域住民・関係機関とともに協議を重ね、安心して生活できるように取り組んでまいらる。

牧野 真の復興・振興にむけ皆が一つになつて取り組むことを願う。

訪れてみたくなる地域づくりについて

牧野 「訪れてみたくなる地域づくり」では観光資源の創出が求められる。「鯉のぼり」や「やな漁」など観光資源と位置づけられ、吉野川自体、自然が育んだ観光資源である。今後、吉野川を活用した観光資源の創出について尋ねる。
産業環境部長 親しみ・愛着をもつてもらえる行事・イベントを企画してまいります。

牧野 官民一体となり地域資源の発見と創出につなげることを望む。
次に、起業家支援施設大野屋（旧辰巳邸）の土地の買上費用・重要文化財建造物等公開活用事業費・起業家支援事業費用等総額を尋ねる。

教育部長 43, 853千円です。

牧野 多額の費用が無駄にならないような運営をし、観光資源の創出につなげることを願う。

次に、五條市一円を周遊する案内及びルートの確立について現状と今後の取組を尋ねる。

産業環境部長

歴史や自然に彩られた観光資源が広範囲に点在しており、新町通りを始め五新鉄道跡、長屋門、櫻井寺、藤岡家住宅、五條文化博物館、賀名生皇居跡、五條市の顔と言ふべき榮山寺の薬師如来や国宝八角堂、牡丹で有名な金剛寺、天誅組の足跡を辿りつつ夢乃湯で温泉やロジジ星のくにごの宿泊もふまえ効率的に巡られる観光周遊ルートの確立に取り組む。
牧野 おもてなしの態勢を構築し五條市の魅力を発信するよう願う。

まちづくり構想（計画）について

牧野 幻の「五新鉄道」跡（新町）の利活用について尋ねる。

都市整備部長

貴重な歴史・文化的建造物を観光資源として安全性を確保し住民の理解を得、歴史と触れ合う仕掛けづくりを検討する。
牧野 魅力的でかつ貴重な地域資源を有意義な保存の取組を願う。

※その他①五條新町通りゾーン30・道路整備②無電柱化アンケート結果③幻の五新鉄道跡（野原）の利活用④学校適正化の進捗⑤避難所の数及び設備⑥賃借料（土地）の公正化⑦議会答弁の信ぴょう性について質問しました。

養田全康 議員

これからの五條市の福祉行政について

養田 厚生労働省発表で65歳以上が2055年には3, 626万人、人口比率39. 4%まで上昇する見込であると発表したが五條市の現状について尋ねる。

あんしん福祉部長

五條市は3人に1人が高齢者で高齢化率32. 3%になっており2025年には約40%を超える見込みとなっている。
養田 五條市は全国的にみても高齢化率が高いが、独居老人や高齢者のみの世帯数について尋ねる。

あんしん福祉部長

平成26年10月1日現在、一人暮らしの高齢者は1, 348人、高齢者のみの世帯は1, 223世帯となっている。

養田

それらを踏まえて現在の介護サービス事業所だけで今後賄えるのか。元気で就労意欲がある高齢者への就労支援はどのような形でを行っているか。また、就労数について尋ねる。

あんしん福祉部長

第6期介護保険事業計画において、過去の実績を踏まえ各サービス量における3年間の見込み計画を立て不足するサービスについては施設等を増やすなど計画を立てている。また、

高齢者の就労については、シルバ一人材センターが組織的に就労を促進することにより高齢者の生きがいの充実や福祉の増進を図っており、平成27年度会員登録数は330人となっている。

障がい者の福祉について

養田 現在、五條市の障害者福祉施策はどのようなになっているか。

あんしん福祉部長

今年4月から精神障害者保健福祉手帳1級保持者に対し医療助成を行っている。

また、その他サービスの周知については障害福祉のしおりを社会福祉課窓口で配布している。

養田

五條市の福祉の現状を市民に広く知っていただけるよう指導願いたい。また就労支援を「生活支援センターのどか」に委託しているが、利用状況や利用後の調査をしないと就労に結びつかないと思う。千葉県では3年間県が雇用し、作業能力の確認やスキルアップをして一般企業に雇用を促す取組もしているようである。五條市も他市の良いところを取り入れこれから検討していただきたい。